

パターンメイキングのための教育用

3S-11

体型把握システムの試み

立花厚子 二宮玲子 千葉桂子 樋口ゆき子

日本女子大学

1. はじめに

三面図から三次元形状を正しく描くことは、複雑な図形に対して難しいばかりでなく、日常、接することの少ないものにとっては、直感的に困難な場合が多々ある。

被服パターンを構成する上で、体型の立体的変化と、得られる平面パターンの二次元的変化を具体的に観察することが出来ると、より両者の関係を明確に学ぶことが出来ると考えられる。

そこで、人体体幹部の数値モデルをデータとして用い、三次元形状と平面パターンとの関係を観察出来るようなシステムの作成を試みた。

2. 数値モデルから平面パターンの作成

女子石膏体幹部の数値モデルとしては横断面データである。(fig.1)

体幹部を近似平面展開するために、横断面データの接平面からなる多面体モデルを作成し、これを平面展開したのがfig.2である。

パターンメイキングのために肩線から袖部分と首部分を取り除き、中心線を垂直に首部で合わせるように、各ピースパターンを配置移動させた図が、fig.3である。

3. おわりに

平面展開後のパターンを自由に移動させることにより、立体を平面展開したときの関係を学ぶことが出来る。また、システムとしては、データが先に得られていれば、入力方法および展開の方法によっては、パソコンで十分であると考えられる。

パターンメイキングは流行により、デザインを年々変化させているが、数値モデルをディスプレイ上で変化させ、パターンを次々と得て観察することも可能である。

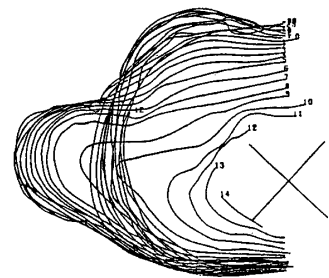


fig.1

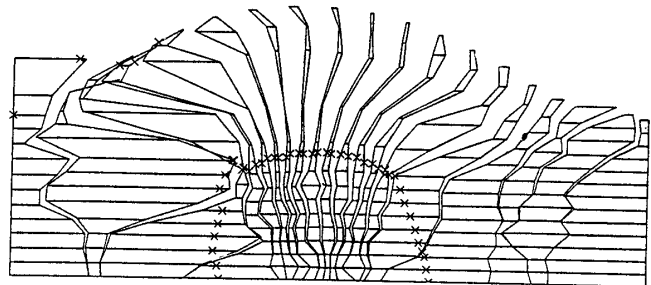


fig.2

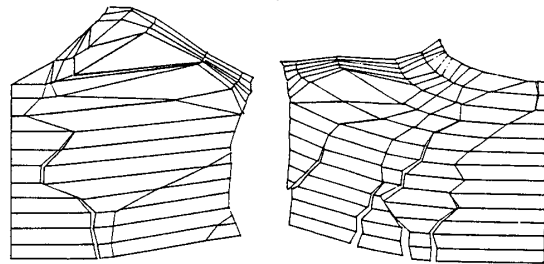


fig.3

A trial Educational System in order to grasp physical build for patternmaking

Tatuko Tachibana, Reiko Ninomiya, Keiko Chiba, Yukiko Higuchi
Japan Women's University